

第2回吉見町立学校適正規模等検討委員会 次第

日 時：令和3年8月20日（金）

午後9時00分～

場 所：図書交流館 会議室

1. 開 会

2. 委員長あいさつ

3. 議 事

(1) 小・中学校教員アンケートについて

(2) その他

4. 視察研修について説明

(1) 本日の予定

(2) その他

5. 視察研修

視察研修先：滑川町役場

滑川町立月の輪小学校

6. 閉 会

【配布資料一覧】

資料1：学校の適正規模や適正配置に関するアンケート調査

資料2：吉見町立学校適正規模等検討委員会視察研修質疑

資料3：月の輪小学校概要

【小学校教職員用】令和3年 月 日

学校の適正規模や適正配置に関するアンケート調査ご協力をお願い

吉見町教育委員会

平素は、本町教育行政に格別のご理解、ご協力を賜りまして、厚く御礼申し上げます。

さて、本町では将来を担う子どもたちに、より良い教育環境を整備し、充実した学校教育を実現するため、町立小中学校の適正な学校規模や配置について検討を進めております。

この調査は、町立小中学校の適正な学校規模や配置についての基礎資料とするため、皆様のご協力をお願いするものです。

お忙しいところ大変恐縮ではございますが、各学校の状況を反映していただき、本調査の趣旨をご理解の上、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

なお、本調査と同内容のアンケートをすでに保護者向けに実施しており、その結果を含めた学校の適正規模についての情報が、「吉見町立学校あり方研究協議会調査研究報告書』として、町のホームページに掲載されておりますので、ご参照ください。

《調査票記入上の注意点》

- 1 氏名を記入していただく必要はございません。
- 2 各質問の項目について、あてはまる番号に○をつけてください。
- 3 調査票は、 月 日()までに記入し、学校でとりまとめのうえ提出をお願いします。
- 4 問い合わせ先 吉見町教育委員会教育総務課 電話：0493-54-7807

1 子どもたちにとって、学校の教育環境で大事なものはどのようなものとお考えですか。特に大事と思われるものを3つまで選び、○で囲んでください。

「ケ その他」をお選びの場合は、その内容をご記入ください。

ア. 校舎・設備などの環境

イ. 教師の指導力

ウ. 1学年あたりの学級数や1学級あたりの人数

エ. パソコンやタブレットなど情報教育に関わる環境

オ. 教材教具などの環境（エの項目を除く）

カ. 学校をとりまく自然環境

キ. 地域社会と連携できる地域の環境

ク. 安全・安心な生活ができる学級の環境

ケ. その他

.....

.....

.....

.....

.....

2 小学校の学級人数について

(1) 小学校の児童数は、法令※で1学級40人(1・2年生は35人)を標準としていますが、吉見町の子どもたちのより良い教育のためには、小学校の1学級あたりの人数は、どのくらいが望ましいと思いますか。

次のア～オの中から1つ選び、○で囲んでください。

※公立義務教育諸学校の学級編制及び教職員定数の標準に関する法律
小学校設置基準(文部科学省令)

- ア. 1学級あたり10人以下
- イ. 1学級あたり11人から20人
- ウ. 1学級あたり21人から30人
- エ. 1学級あたり31人から40人
- オ. わからない

(2) (1)の回答を選んだ理由について、次のア～ケの中から2つまで選び、○で囲んでください。

- ア. 切磋琢磨しながら力を伸ばしやすい環境である
- イ. 競争意識が生まれやすい環境である
- ウ. 多くの児童との交流が生まれる
- エ. 多様な学習形態で授業を展開できる
- オ. 大勢で様々な活動ができる
- カ. 先生が目が届きやすく、きめ細かな指導がしやすい
- キ. 個々の活動の場が増え、責任感が育つ
- ク. ゆとりや安心感など、家庭的な中で勉強ができる
- ケ. その他、具体的にあればご記入ください。

.....
.....
.....
.....
.....

3 小学校の学級数（学校規模）について

(1) 小学校の学級数は、法令※で1学年あたり2～3学級（1学校あたり12～18学級）を標準としていますが、吉見町の子どもたちのより良い教育のためには、小学校の学級数は、どのくらいが望ましいと思いますか。

次のア～エの中から1つ選び、○で囲んでください。

※学校教育法施行規則

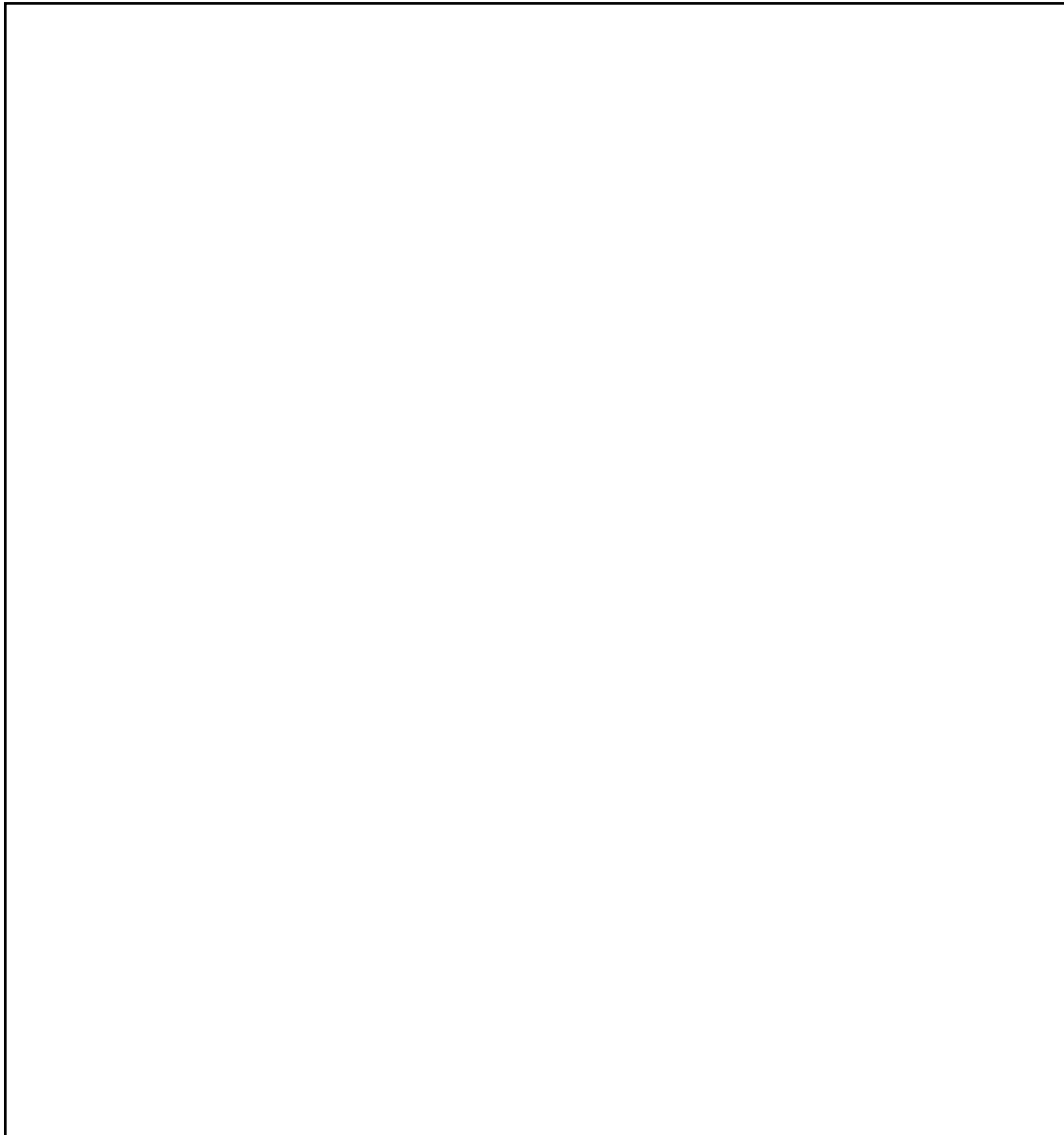
- ア. 1学年あたり1学級
- イ. 1学年あたり2～3学級
- ウ. 1学年あたり4学級以上
- エ. わからない

(2) (1)の回答を選んだ理由について、次のア～ケの中から2つまで選び、○で囲んでください。

- ア. クラス替えにより人間関係に変化を持たせることができ、友達もた
くさんできる
- イ. 多様な考えに触れる機会が多い
- ウ. 様々な個性を持つ先生と出会える
- エ. P T A活動等において、保護者への負担が少ない
- オ. 学校行事で、児童一人ひとりの個別の活動機会を設定しやすい
- カ. 学校施設や教具等が利用しやすい
- キ. 同じ児童と長期間同じクラスで過ごせ、互いに親密になれる
- ク. 学年を越えた友達ができやすい
- ケ. その他、具体的にあればご記入ください。

.....
.....
.....
.....
.....

- 4 吉見町では、将来を担う子どもたちにとって望ましい教育環境を整備するため、学校のあり方に関して調査研究をしています。皆様のご意見があればお聞かせください。



質問は以上です。ご協力ありがとうございました。

吉見町立学校適正規模等検討委員会視察研修質疑

視 察 先 滑川町立月の輪小学校

日 時 令和 3 年 8 月 20 日（金） 10:00～11:30

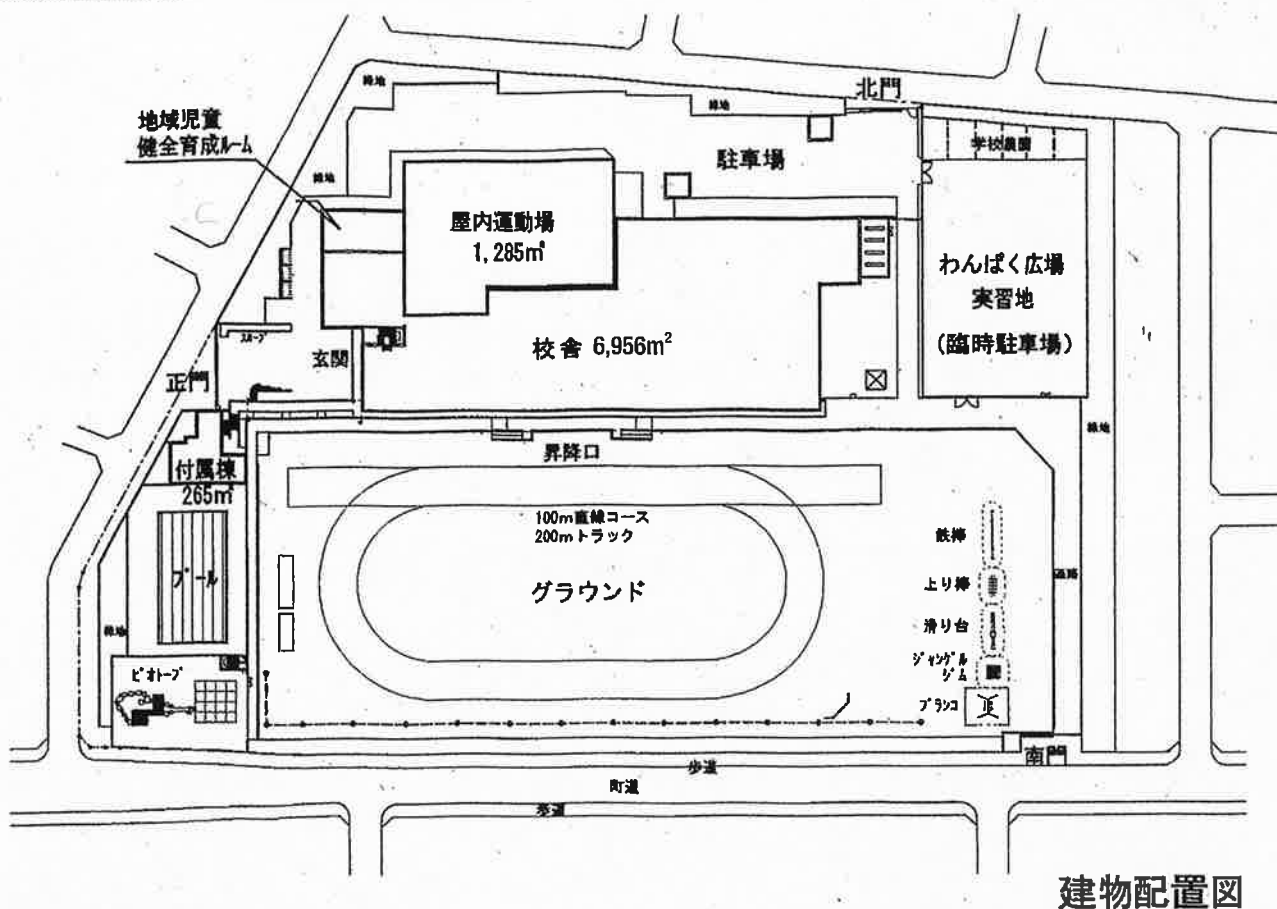
- (1) 小学校建設の基本計画、基本設計については、町はどこまで行いましたか。
- (2) 平成 22 年に設立されたと拝見いたしましたが、設立までの経過をご教示ください。
- (3) 全体事業費（建設費・用地買収費など）と年間に支出する事業費についてご教示ください。
- (4) 上記の事業について、国庫補助金等が使われていますか。使われている場合、その手続きについてご教示ください。
- (5) 校舎建設から 11 年が経過していると思われませんが、他の学校と比較して教育委員会の維持管理が楽になっているかご教示ください。

(6) 維持管理費用の中にはどのような内容が含まれておりますか。

(7) 月の輪小学校の教員や児童又は保護者たちの評価はどうですか。

(8) 施設内にある学童保育の設置にあたっての補助金等についてご教示ください。

(9) 学童保育と学校（教育委員会）との関わり（協定の有無など）についてご教示ください。



建物配置図

施設概要

所在地：埼玉県比企郡滑川町月の輪6-15-3
 用途地域：第一種中高層住居専用地域
 建ぺい率：19.18%（許容70%）
 容積率：38.02%（許容200%）
 敷地面積：23,416.00㎡
 建築面積：4,489.15㎡
 延床面積：8,919.16㎡（容積対象床面積：8,901.48㎡）
 構造・規模：RC造一部S造 地上3階
 設計・監理：日総建・松下設計 設計監理共同企業体
 施工：中里・島村特定建設工事共同企業体（建築）、株式会社三晃空調（機械）、株式会社東京エネシス（電気）
 建設総事業費：20億7,900万円（税抜き、用地費除く）
 工期：平成21年1月～平成22年2月

外部仕上

<校舎>

屋根：アスファルト防水 押えコンクリート
 屋上：アスファルト防水 押えコンクリート
 外壁：コンクリート打ち放し、フッ素樹脂クリア塗装
 開口部：アルミ製サッシ、鋼製建具

<屋内運動場>

屋根：折板葺き（ガルバリウム鋼板）＋断熱ボード
 外壁：一部磁器質タイル（光触媒仕様）
 開口部：アルミ製サッシ、鋼製建具

内部仕上

<普通教室・オープンスペース>

天井：化粧石膏ボード（吸音）
 壁：杉板貼り、自然塗装塗り
 床：木製フローリング

<多目的ルーム>

天井：化粧石膏ボード（吸音）
 壁：ビニールクロス貼り
 床：木製フローリング

主な使用木材

<校舎>

普通教室・オープンスペース等 壁：県内産杉板
 空調設備
 冷暖房方式：空冷ヒートポンプマルチエアコン（一部水蓄熱タイプ）、蓄熱暖房器（熱源：電気）
 床暖房設備：潜熱＋顕熱蓄熱方式（熱源：電気）
 その他設備：個別パッケージ（熱源：電気）
 プール設備
 構造：FRP製、水面積：325㎡
 浄水設備：市水ろ過設備：珪藻土ろ過
 屋外環境
 グラウンド：クレア舗装、遊具、ピオトープ他

学校概要

（平成22年6月現在）

校長：吉澤政宏
 電話：0493-61-2233
 児童数：490名（うち特別支援学級7名）

学級数：18（うち特別支援学級2）
 交通：東武東上線「つきのわ」駅下車徒歩3分